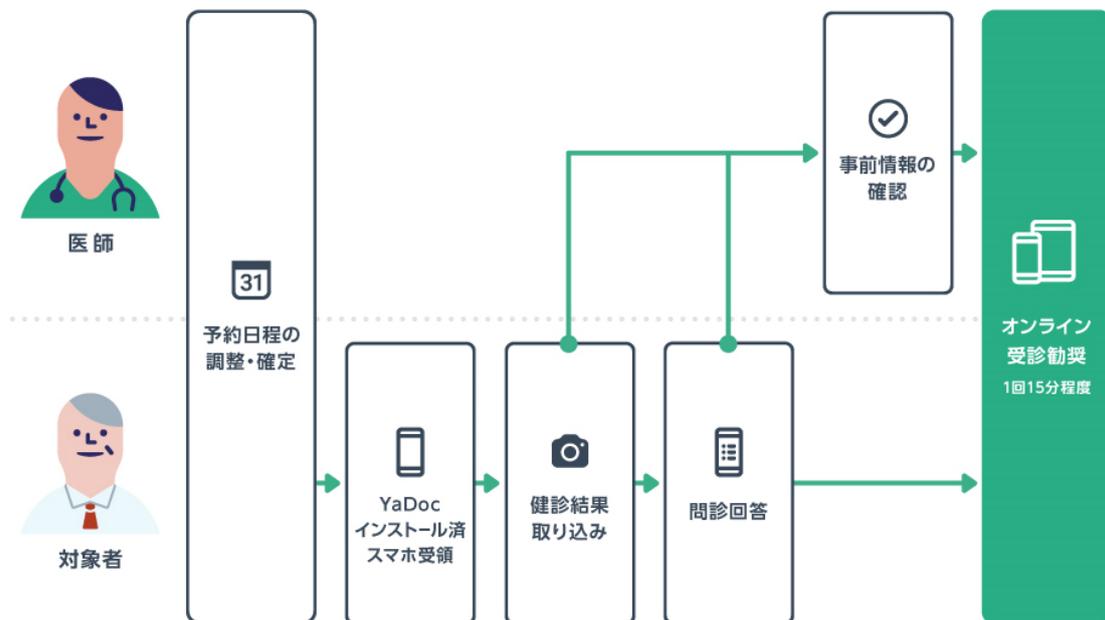


## 三重県「課題解決型 ICT 活用遠隔受診勧奨等事業」にて 小規模事業所向け健康経営に成果 「YaDoc」を活用したオンライン受診勧奨を実施

株式会社インテグリティ・ヘルスケア（本社：東京都中央区、代表取締役会長：武藤 真祐、代表取締役社長：園田 愛、以下「インテグリティ・ヘルスケア」）は、生活習慣病の発症予防・重症化対策を目的として、三重県が実施する「課題解決型 ICT 活用遠隔受診勧奨等事業」に、インテグリティ・ヘルスケアが開発する疾患管理システム「YaDoc（ヤードック）」を提供し、三重県内中小企業従業員向けのオンライン受診勧奨のモデル事業を実施しましたので、その成果を報告します。



▲オンライン受診勧奨を受けるまでの流れ

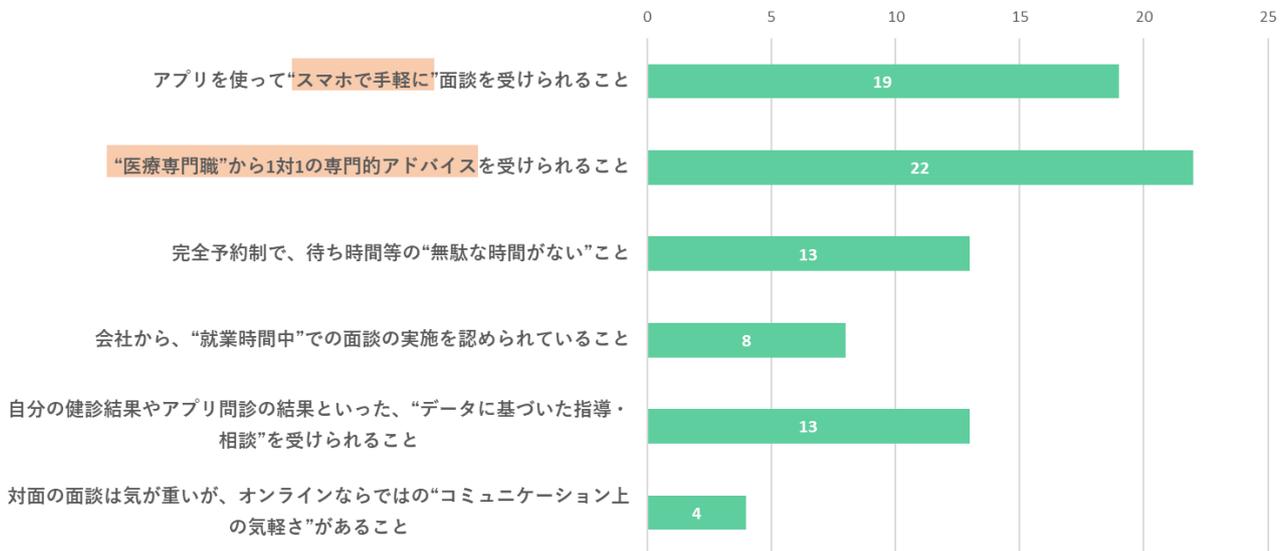
三重県は、特定保健指導<sup>\*1</sup>の実施率が全国 33 位と低い順位であることを受け、生活習慣病の発症リスクが高い特定保健指導未受診者に対して受診勧奨等<sup>\*2</sup>を提供する「課題解決型 ICT 活用遠隔受診勧奨等事業」を 2018 年 10 月～2019 年 3 月に実施しました。

受診勧奨等の対象者は、産業医の個別指導等が受けにくいとされている小規模事業所の従業員の中で、健康診断の結果によりリスクが高いとされた方を抽出して同意が取れた 40 名とし、彼らに対し三重県内の内科・糖尿病内科系のかかりつけ医 4 名が、オンラインで受診勧奨等（1 回・15 分程度）を提供しました。（尚、対象者側・医療機関側双方に対し、期間中 YaDoc を利用する端末を事務局から貸与し、実証を行いました）

## 【実施結果】

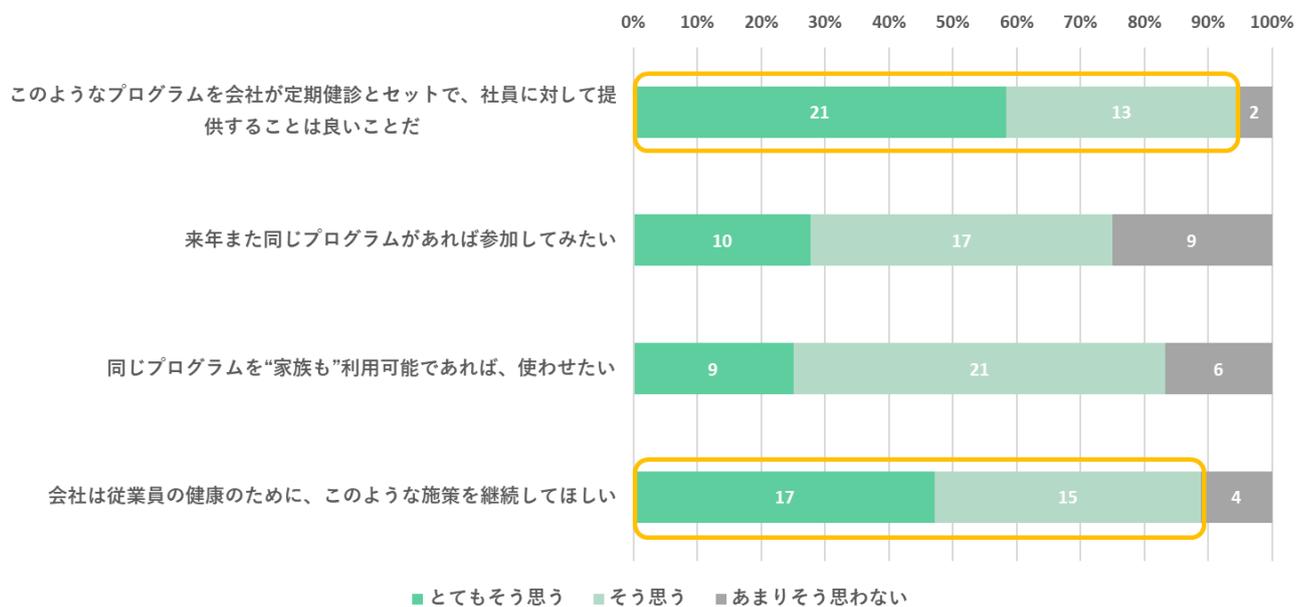
40名の対象者のうち、38名で受診勧奨等面談が成立しました。面談後の対象者向けアンケート（N=36）では、当モデルで「価値がある」と思う点として、「1対1の専門的アドバイス」と「手軽さ」にポイントが集まりました。

あなたがオンライン受診勧奨という今回のモデルで、  
最も「価値がある」と思うポイントを2つ選んでください。(N=36)



また、このようなモデルの企業での制度化については、定期健診とセットで従業員に提供してほしい、従業員の健康のために施策を継続してほしい、といった点に関心が集まりました。

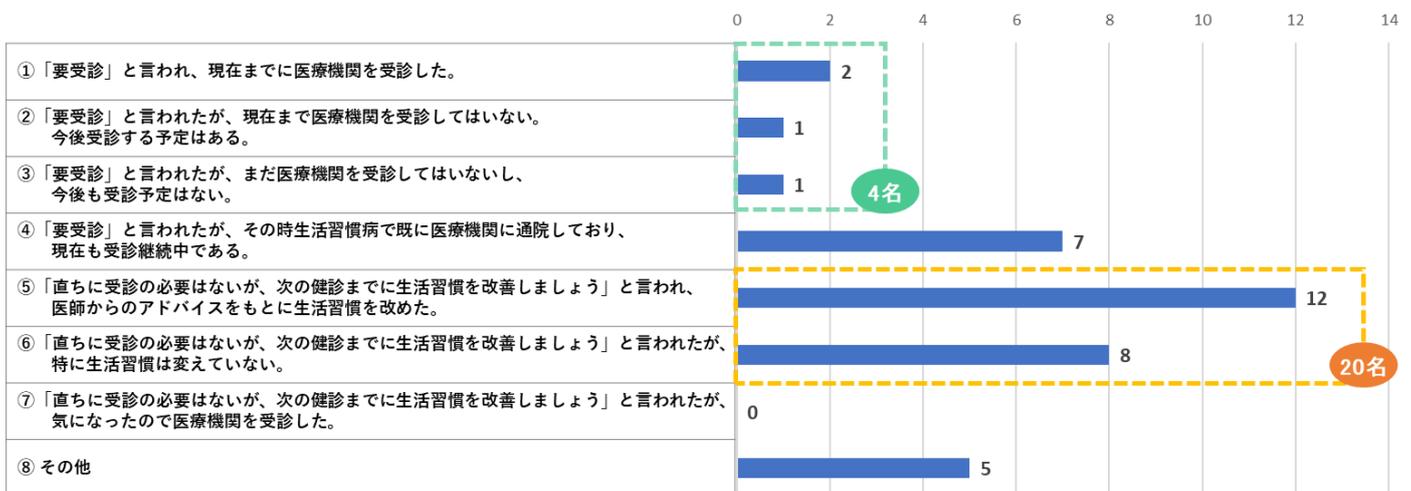
当プログラムの“制度化可能性”について (N=36)



## 【実証後の受診行動】

「要受診」と医師から判断され、受診を勧奨された対象者は4名で、そのうち2名は勧奨後に受診済み、1名も受診予定と、勧奨の結果3/4の方の受診行動により変化がありました。また、「直ちに受診の必要はないが、生活習慣の改善は必要」と医師から判断され指導を受けた対象者は20名で、そのうち12名が面談後に実際に食事や運動等で生活習慣を改めたと回答し、こちらも6割でよい行動変容が確認されました。

受診勧奨面談後の行動変容についてのアンケート（面談実施者38名中、36名から聴取）



実証の結果、アプリを用いて1回15分の面談を行う当モデルが、低コストかつ参加ハードルの低い、新たな健診後受診勧奨の打ち手として、一定の妥当性・実現可能性を持っていることが示唆されました。

しかし同時に、今後当モデルを拡大するにあたっては、面談の提供を行う医師の確保がボトルネックになる可能性があることが予想され、医師だけでなく、看護師や保健師・栄養士等のコメディカルもオンラインで医療相談等の面談を提供できる体制構築が必要なことも明らかになりました。

今回の実証結果について、三重県医療保健部長の福井敏人氏は、「この度、本県で実施した実証事業において、6割の受診者に行動変容がみられるなど、ICTを活用した受診勧奨に一定の効果が認められるという結果が得られました。このことを踏まえ、実証事業の結果については企業、保険者等に情報提供するとともに、今後も特定保健指導受診率向上に向けた様々な取組を進めてまいりたいと考えています。」とコメントしています。

また、日本糖尿病協会三重県支部長として当実証事業に参加頂いた、四日市羽津医療センター院長の住田安弘医師は、「糖尿病やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病を予防あるいは治療する上で、生活習慣の是正が非常に重要ですが、これらの状態にある人は自覚症状がないため、忙しい等の理由で指導すら受けてくれない方が多くいます。そのような状況で、この度の実証モデルは多忙な対象者でも指導を受けることができ、加えて受講者に行動変容が認められた、非常に優れたものであることがわかりました。現在全国的にこのようなICTを用いた受診勧奨・保健指導が検討されており、是非当県でも具体的導入に向け検討を重ねていかれることを希望しています。」とコメントしています。

※1：特定保健指導：40歳から74歳の生活習慣病予備軍に対して実施される保健指導のこと

※2：受診勧奨等：医療機関への受診や特定保健指導を受けることを勧奨すること

## 補足資料 1：サービス概要



- サービス名 : 疾患管理システム「YaDoc (ヤードック)」
- 提供開始日 : 2018年1月
- 主な機能 全国の医療機関 1900 施設に導入し、医療相談や保健指導からオンライン診療まで、予防・治療の補完システムとして利用
- <モニタリング>  
利用者は目的に合わせて必要な項目を自分で管理して記録します。指導者（または医療者）は利用者の状態変化を捉えることができます。
- <オンライン問診>  
目的ごとに設定される定型項目に沿って、指導者は利用者から事前に状態や疑問点などを漏れなく把握することができます。
- <オンライン診察/保健指導/医療相談>  
予約時刻を目安に指導者から発信します。利用者のその時の状況に合わせて、表情や状態を見て指導を受けることができます。
- U R L : <https://www.yadoc.jp/>

## 補足資料 2：代表者・会社概要

### 株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 武藤 真祐



東大病院、三井記念病院にて循環器内科に従事後、宮内庁で待医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年医療法人社団鉄祐会を設立。2015年シンガポールで Tetsuyu Healthcare Holdings Pte, Ltd. を設立。東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床教授。日本医療政策機構理事。一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ理事。東京大学医学部卒業(MD)。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了(Ph.D.)。INSEAD Executive MBA。Johns Hopkins MPH。

### 株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役社長 園田 愛



医療経営コンサルティングに従事後、株式会社リクルート事業開発室にてヘルスケア関連事業に携わり、2009年株式会社インテグリティ・ヘルスケア設立。同時に医療法人社団鉄祐会の設立に参画。2011年より東日本大震災の大規模復興事業を現地統括。2015年よりヘルステック事業を開始、現在に至る。東京医科歯科大学大学院修了。MBA。MMA。

## ▼会社概要

社 名 : 株式会社インテグリティ・ヘルスケア  
設 立 : 2009年10月  
代 表 者 : 代表取締役会長 武藤 真祐、代表取締役社長 園田 愛  
事 業 内 容 : テクノロジーを活用した医師の診療支援ソリューションの提供  
所 在 地 : 東京本社 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-27-5 YAMATO B.L.D  
東京サテライトオフィス 東京都中央区日本橋人形町 1-11-2 川商ビル 7階  
福岡オフィス 福岡市中央区天神 2-11-1 福岡 PARCO 新館 5階  
名古屋オフィス 名古屋市中区栄 2-2-23 アーク白川公園ビルディング 7階  
大阪オフィス 大阪市中央区南本町 2-3-12 EDGE 本町 3階  
仙台オフィス 仙台市青葉区中央 4-10-3 仙台キャピタルタワー 2階

U R L : <https://www.integrity-healthcare.co.jp/>

### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 事業担当：増崎  
TEL：03-6661-0858 Email：[pr@integrity-healthcare.co.jp](mailto:pr@integrity-healthcare.co.jp)